

平成26年度 文化財保護審議会議事録

会議の名称	平成26年度 第1回文化財保護審議会
開催日時	平成26年11月28日(金) 午後2時～午後4時まで
開催場所	大和高田市中央公民館 第3講座室
出席(者)委員	東南光、泉森皎、浦西勉、玉井章進、水本一次(計5名)
欠席(者)委員	高橋隆博、平林章仁、櫻井敏雄(計3名)
担当課職員名	教育委員会 土谷教育長、寺井事務局長、福西課長、西川課長補佐、前澤係長(計5名)
会義の次第 及び会議の公開又は非公開の別	議事 (1) 大和高田市郷土資料室移転と運用について【公開】 (2) 重要文化財 弥勒仏坐像の修理進捗状況について【公開】 (3) 平成27年度発掘調査予定・大谷山1号墳について【公開】 (4) 文化財ボランティアガイドの立ち上げについて【公開】 (5) 史跡案内看板修理について【公開】
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	
傍聴者の数	0名
会議資料	会義式次第
会議録の作成	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）

1 開会の辞

事務局より出席人数報告。8名中5名参加により、過半数を超えているので文化財保護条例施工規則より審議会が成立することを宣言します。

議長は審議会会長の浦西委員が選任される。

2 議長挨拶

3 教育長挨拶

4 議事

議事

1 大和高田市郷土資料室移転と運用について

委員 車で来訪者の為に、駐車場は確保できているのか。

係長 正面の荷解き場に4～5台駐車できます。

委員 特別収蔵庫やボランティアルームがあるが、中学校社会科の勉強でも利用できれば良いと思う。

係長 小中学生、高校生の学習の場として活用するため、委員からの意見をいただきたい。

委員 学校の教材として活用してもらいたいが、例えば小学校の1クラスがボランティアルームに入り勉強などはできるのか。

係長 ボランティアルームは10名程しか入れないので、40名が入れる特別展示室を学習の場所と考えている。陵西小学校時代から引き続き課外学習の場所として活用していきたい。

委員 大和高田市郷土資料室ができることで文化財保護の拠点ができたが、これで終わりではなく20年30年先を見通して大和高田の郷土資料を紹介できる資料館、博物館を頭にいれながら進めていってほしいと思う。

2 重要文化財 弥勒仏坐像の修理進捗状況について

委員 弥勒仏坐像が修理された後の管理は、どのように考えていますか。

係長 収蔵される弥勒寺には、既にセキュリティシステムによる防犯体制を備えています。

委員 本堂裏の土塀は、崩れたままでしょうか。

係長 土塀については修理の予定はありません。地元の有志らが重要文化財がある寺であるとの案内看板を作る予定です。

委員 大和高田市からは修理に対する補助金は出していますか。

係長 本堂の修理には、出ています。

3 平成27年度発掘調査予定・大谷山1号墳について

委員 27年度の西側トレンチ調査と、28年度トレンチ調査は特に慎重に調査をしてほしい。それから天理大学へ依頼すると、発掘前に地中の状況を知る磁気探査ができるので、こちらも検討してもらいたい。

4 文化財ボランティアガイドの立ち上げについて

委員 大和高田にゆかりのある木綿関係の民具は保存されていますか。

係長 糸巻きはあります。他の民具は農機具が中心です。

委員 内本町に民具を保存している方がいるので、見学させてもらってはどうか。

係長 検討させていただきます。

委員 織機を探してワークショップをして、木綿の産地であったことを伝えていってほしい。

係長 これまで農業に関わる民具を収集していましたが、産業に関わる道具類も集めていきたい。

委員 ボランティアガイドは、歴史や関心を持っているファンを増やすのに重要な役割を持っているので頑張ってもらいたい。

5 史跡案内看板修理について

委員 看板をきちっと整備するのはありがたいが、どちらに行けば史跡があるのかを示したサイン案内がほしい。それとレンタルサイクルがあると、車では入りにくい場所も観光しやすくなる。モデルコースもあると観光で回りやすくてたくさんの観光客が来訪するのではないか。

係長 レンタルサイクルは「まわっちゃり」があります。

委員 市役所と主要駅で1回100円で借りることができます。

委員 去年、県と共同で観光マップを作ったが、細くややこしい道もあった。観光には色々な工夫も必要になる。

以上